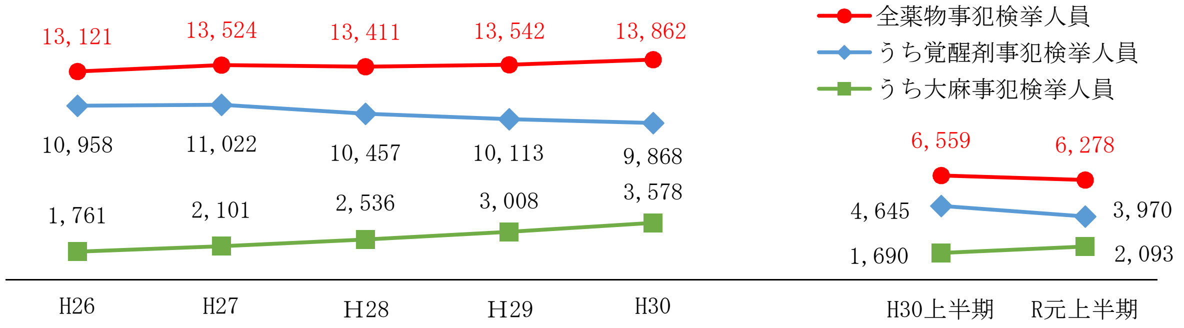
資　料　１	最 近 の 薬 物 情 勢 に つ い て	警　　　察　　　庁 薬物銃器対策課

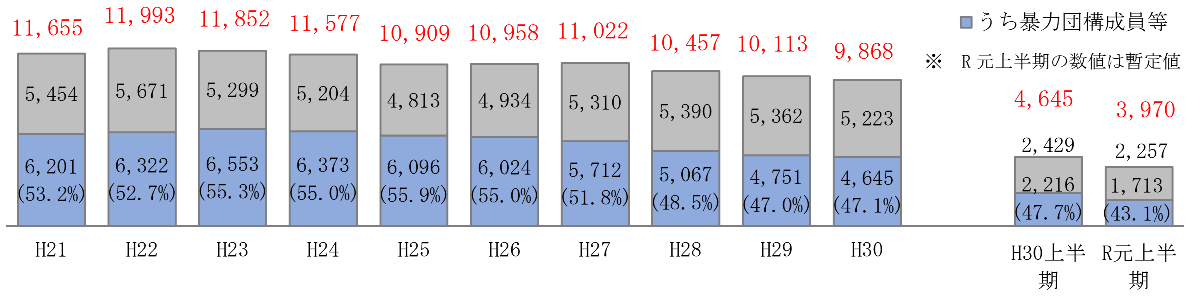
１．薬物事犯検挙人員の推移（人）



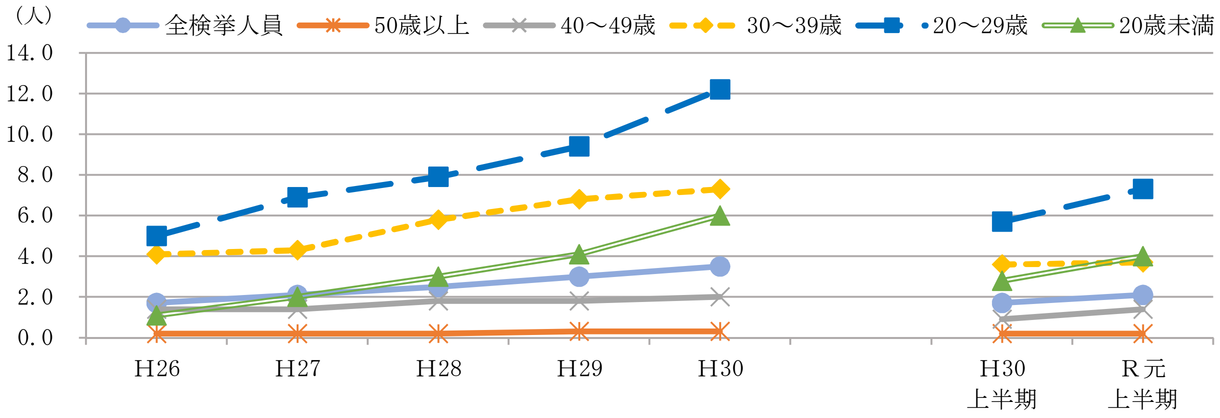
※　Ｒ元上半期の数値は暫定値

２．覚醒剤事犯の検挙状況と暴力団の関与

覚醒剤事犯検挙人員（人）



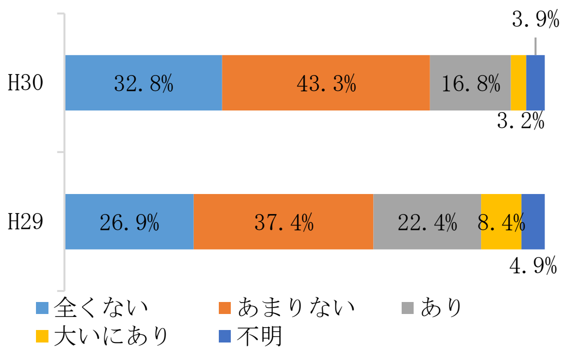
３．人口 10 万人当たりの大麻事犯検挙人員の推移

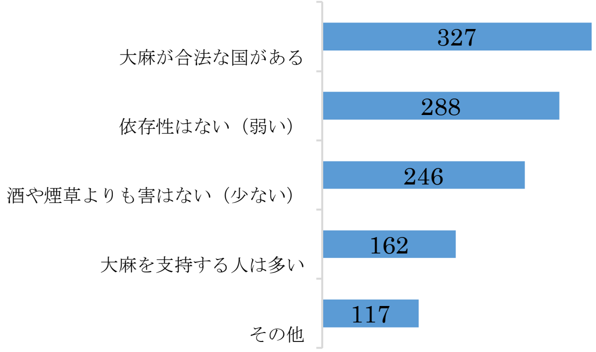


資料２	警察における大麻事犯対策等	警察庁 薬物銃器対策課

１．警察における総合的な大麻事犯対策

（1）大麻に関する実態調査結果（調査対象　H30 年：716 人、H29 年：535 人）





（2）　大麻事犯の徹底検挙

大麻の栽培や密売等に関与している暴力団等の組織への取締りの徹底

（3）　効果的な広報啓発活動の実施

大麻の有害性に関する正しい理解の促進

⇒　取組の１つとして、**大麻に特化した初の専用ウェブサイトを開設**

○ ＷＨＯ薬物依存専門会議の委員を務めた有識者の解説動画

○ 若年層に訴求力のある芸能人らがメッセージを発するビデオクリップ

○ 広報活動に使用可能なリーフレットデータ（対象者の属性別）

２．警察における薬物再乱用防止施策

薬物再乱用防止パンフレットの作成・配布

○　薬物依存症について解説

○　薬物依存症から回復を続ける方々の手記を掲載

○　薬物依存症に関する医療機関・相談機関を紹介

大麻は違法薬物。

暴力団などの資金源にもなっています。
未来の自分を守るために、正しい知識と
「自分はやらない」と言える強さを手に入れよう。

Special Movie

スーツ姿で相手をなぎ倒すMCバトル王者、異色のラッパー・DOTAMAと、独特のファッションセンスと、新時代を感じさせる楽曲で同世代の女性から高い支持を集めるアーティスト・吉田凜音が贈る、あなたに聞いてほしい言葉（リリック）ー

急増する若者の大麻乱用。

大麻は依存症にならない？ 安全？
ウソやウワサに流されてしまう前に、知るべきこと。

大麻を使うと精神的な影響を受けます。ネズミの実験から攻撃性が高まったり、逆に精神を過剰に抑制する面があることが分かっています。例えば手を挙げたまま動きたくても鉱物のように固まってしまう「カタレプシー」という症状もあります。

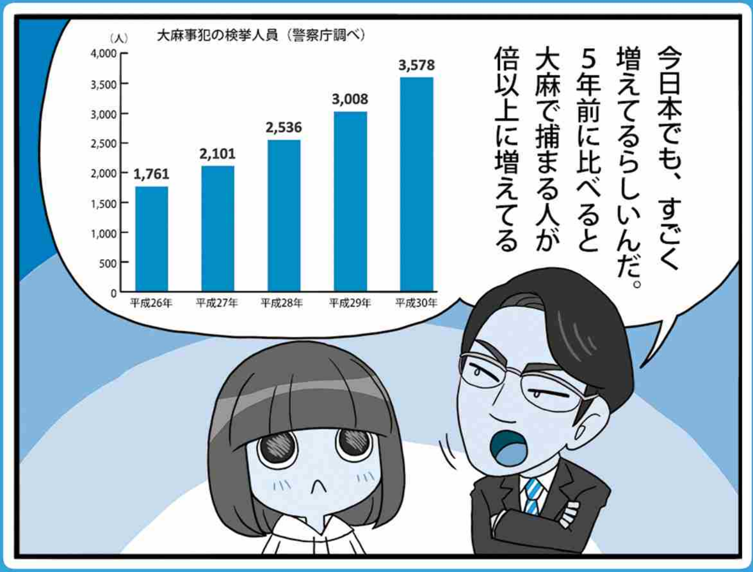
心身が未完成な若い世代の脳は、大麻の影響を受けやすい。将来にわたって「大麻精神病」と呼ばれるような精神症状が出てしまうこともあります。

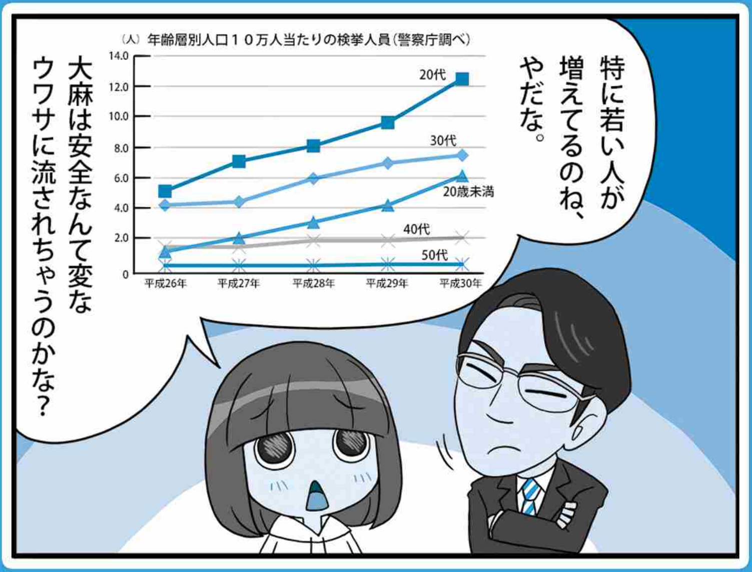
「大麻は依存症になりにくい」という間違ったイメージのせいで気軽に大麻に手を出してしまい、もっと強い刺激を求めてほかの薬物に移行するケースが後を絶ちません

大麻依存症になると自分のお金も時間もすべて薬物のために使ってしまうことに。そして、日本で依存症の治療ができる医療機関はとても少なく、特効薬もないのです

星薬科大学 薬物依存研究室
特任教授・名誉教授
鈴木 勉 先生

「大麻には害がない」「心身が大麻の影響を受けることはない」など、間違った情報やイメージが広がっています。大麻の乱用をきっかけに、自分でも気づかないうちに依存症になってしまい、より強い刺激を求めて別の薬物に手を出してしまう例も多いのです。大麻は日本ではもちろん、国際条約でも厳格に規制されている薬物です。正しい知識を持って正しい判断をしましょう。





大麻は違法薬物。自分の未来は自分で守る。

大麻の使用を誘われたら!?

「必要ない」「興味ない」 などと、最初にきっぱり断ることが何よりです。もし断りづらい雰囲気があるなら、とにかくその場から離れましょう。言葉巧みに誘われて、どうしても気持ちが揺れそうなときには、「大事なこと」「将来やりたいこと」「大事な人」を思い出し、大麻によってそれらを失ってしまうことを想像してみてください。

仲のいい友達や家族が大麻を使っていたらどうする？

「自分が注意してやめさせよう」と考えるかもしれませんが、依存症になってしまったものをやめさせるのは簡単なことではありません。すぐに薬物専門の窓口に相談してください。大切な友達や家族が逮捕されてしまう……と考えると難しいかもしれませんが、対処が早ければ早いほど本人にとってもまわりにとっても、相談することが一番良い結果につながります。

大麻をやめたい！

もしあなたが依存症になっているとしたら、自力で大麻を断ち切るのは困難です。時間が経てば経つほど症状は悪化し、やがてもっと刺激の強い薬物を求めてしまう危険もあります。そうなってしまったら本当に取り返しがつかない心身症状になり、自分の将来やまわりへの影響が出てくるでしょう。ひとりでなんとかしようとせず、必ず薬物専門の窓口へ相談を。

I'm CLEAN
なくす やめる とおざける

違法大麻についての危険性や害について分かりやすく解説するコンテンツや、
大麻事犯に巻き込まれてしまった際の対処方法、相談窓口などを掲載しています。
いざという時に正しい判断ができるよう、正しい知識を身につけてましょう。

大麻　警察庁　｜　検索

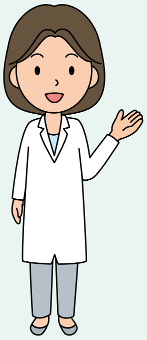
薬物問題でお悩みの方へ

相談してみませんか

警 察 庁

平成30年度

どのような医療機関や相談機関があるの？



薬物依存症の人を支える機関はいくつかありますが、次のようにそれぞれできることがあります。

回復には、そのときの状況や段階に合わせて、上手にこれらの機関を利用することが大切です。

「(自分や家族、知人が) 薬物依存かもしれない。」と思ったら、一人で悩まず、また一人で解決しようとせず、まずはご相談ください。

薬物依存症専門医療機関（P.13、14）

依存症患者が地域で適切な医療を受けられるようにするために、薬物依存症に関する治療を行っている専門医療機関です。厚生労働省が選定基準を設けています。

薬物依存症相談拠点（P.15）

都道府県および政令指定都市に設置されている、薬物依存症に関する相談の拠点です。各施設には、依存症相談員が配置されています。

精神保健福祉センター（P.15）

メンタルヘルスに関する高い専門性を有する行政機関です。SMARPP (Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program) などの認知行動療法プログラムや家族教室を実施している機関も増えてきています。

家族会（P.16）

薬物依存症の当事者家族が管理運営している団体で、その多くはダルク（DARC：Drug Addiction Rehabilitation Center）などの回復支援施設と連携を保ちながら、専門家を招いて勉強会を開催したり、家族がそれぞれの経験を語るミーティングを行ったり、家族相談を行ったりしています。

薬物依存症回復支援施設（P.17）

当事者が主体となった依存症回復支援施設です。依存症という共通項のある者同士が支え合い、グループミーティングを中心とした各自の取組みを行うなどして、依存症からの回復を目指しています。依存症から回復した経験を持つ職員によって運営されており、入所型施設が中心ですが、通所利用ができる施設もあります。これらの施設として、ダルクなどが知られています。

自助グループ（P.18）

依存症から回復したいと願う当事者による活動団体です。薬物依存症の自助グループとして、ナルコティクス・アノニマス（NA：Narcotics Anonymous)、薬物の問題を持った家族や友人の自助グループとしてナラノン（Nar-Anon）が知られています。特定の施設を持たず、公民館や教会のスペースを借りて、回復プログラム（12stepプログラム）に基づくミーティングなどを行います。

出典：厚生労働省「ご家族の薬物問題でお困りの方へ」